

2024 新年の ごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、夢と希望に満ちた令和6年の輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から町政に対する深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますといろいろな分野で大崎町が注目を浴びた年であったように思います。

まずスポーツ関係では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことなどもあり、明るい話題が多かったように感じております。

2月には、「ジャパンアスリートゲームズイン オオサキ 2023」が2年ぶりに開催され、全国からトップクラスの選手が参加したほか、県内のジュニアアスリートも参加しました。

6月には、大崎町ラグビー場こけら落とし記念大会が開催され、鹿児島県高校選抜代表チームと全国屈指の強豪校である京都成章高校の試合がおこなわれ、雨の中にもかかわらず多くの方々が迫力あふれるプレーに拍手を送りました。

そして、「特別国民体育大会」として51年ぶりに鹿児島で開催された「燃える感

動かごしま国体」では、本町においてもビーチバレーボールとドッジボールの大会が開催されましたが、各会場とも関係者の皆様方のご尽力により成功裏に終わることができました。特に、松林に囲まれた自然豊かなビーチス・スポーツ専用競技場は、選手をはじめ来場者に高い評価をいただいたところでございます。

この国体では、グラウンドゴルフで「大崎真心」チームが県代表として出場され、団体で5位入賞という素晴らしい成績を残されました。

その他にも、地域のスポーツ振興と担い手不足に悩む農業を支援しようとバレーボールVリーグ3部の兵庫デルフィーノが大崎町を訪れ、また台湾ナショナルチームも合宿に訪れましたが、両チームとも子どもたちとの交流事業にも取り組んでいただきました。

これらをはじめ本町におけるさまざまな取り組みが評価され、スポーツツーリズムの推進や障がい者スポーツの体験・交流、スポーツがしたくなる環境整備等に積極的に取り組む自治体として、室伏スポーツ庁長官から「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を受けました。今後も、昨年設立した「スポーツ観光お